

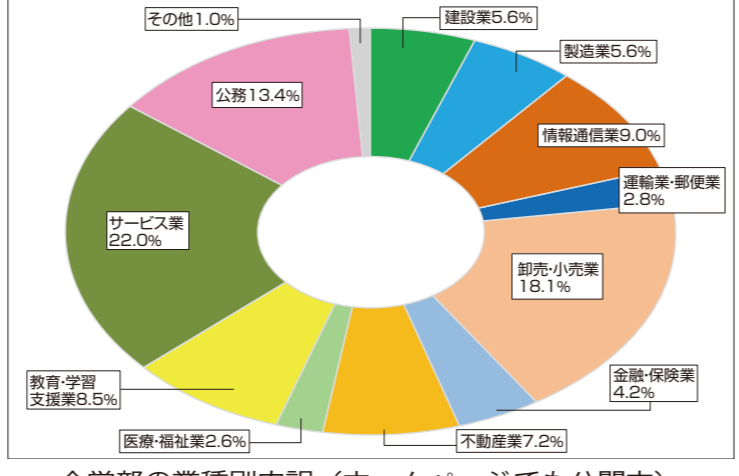
令和2年度科研費 50件に6477万円交付

文部科学省から、令和2年度科学研究費助成事業の研究種目別に交付決定があり、5月1日現在、新規採択15件(うち転入1件)、継続課題35件(うち転入3件・期間延長1件)の計50件の学術研究に合わせた6477万円の科研費が交付される。

採択された学術研究は、下表「令和2年度科学研究費助成事業採択課題一覧」とおり。

令和2年度 科学研究費助成事業採択課題一覧

研究種目	氏名	所属	職名	研究課題
基礎研究(C)	平 浩一	文学部	教授	新聞小説の多角的研究—1920年代から1940年代を中心に
基礎研究(C)	加藤 幸治	文学部	教授	医療サービスの立地と需給の地域構造に関する基礎的研究
基礎研究(C)	松崎 史周	文学部	准教授	作文・推敲につながる文法の知識・技能とその指導法に関する研究
基礎研究(C)	土屋 裕和	理工学部	准教授	新採択審判における身体運動認知の熟化過程とその脳科学的基盤の解明
基礎研究(C)	二井 昭洋	理工学部	教授	洪水防衛と地域・都市再生に向けた河川・都市計画の統合的計画技術の体系化と実装化
基礎研究(C)	関根 明伸	体育学部	教授	韓国における道徳教科書の内容分析的研究
基礎研究(C)	中込 昌樹	体育学部	教授	「このころの推進力」の機軸からみたアスリートの心理的課題の類型化
基礎研究(C)	土佐 四郎	21世紀アジア学部	教授	東アジアの国民的アイデンティティ変容をめぐるマルチメディア・SNSの役割
基礎研究(C)	小口 和美	21世紀アジア学部	教授	戦中・戦後「ニュー・アカ」地方の政治と社会：出土史料の研究
若手研究	島崎 杉雄	経営学部	講師	のれんとシブジーに関する研究
若手研究	穴倉 悠太	法学部	准教授	発達障害者に対する非少年少年・不良行為少年への初期対応としての多機関連携の展開可能性
若手研究	八木 聖二	政経学部	准教授	中国語方言音における地理的連続性と通時的変化の研究
若手研究	平野 智也	スポーツ・シニア学部	助手	骨格筋の状態を客観的に評価する方法の確立とその応用
奨励研究	田村 浩志	政経学部	准教授	救命救急隊員タスクを軽減に必要な牽引力の測定
奨励研究(B)	阿部 武司	政経学部	教授	工業化初期における技術移転の研究：明治期日本紡績業の発展
新学術領域研究(研究推進型)	土屋 裕和	理工学部	准教授	「情動が時間認知に与える影響」の発達過程とその個人差に関する神経生物学的研究
基礎研究(C)	栗岡 晃夫	文学部	教授	メランヒョンのカキスミムに関する研究
基礎研究(C)	太田麻衣子	文学部	准教授	長江流域楽舞文化の研究：漢帝国成立の文化的背景
基礎研究(C)	小池 亜子	政経学部	准教授	地域ニーズを活かした外国人児童生徒等教育の教員研修つくりと効果の検証
基礎研究(C)	小野瀬 浩也	文学部	教授	子どもの深い科学概念構築を志向した理科授業デザイン支援に関する研究
基礎研究(C)	田中 重隆	政経学部	准教授	スポーツ競技者の筋・腱の力学的活動態が筋パワー発揮に及ぼす影響を調べる
基礎研究(C)	竹市 勝	政経学部	教授	運動物体の摩擦に関する認知・予測特性と運動制御特性の解析
基礎研究(C)	地神 裕史	理工学部	准教授	無意識に処理される視覚情報によって生じる生体反応の生理学的解析とスポーツへの応用
基礎研究(C)	細越 淳二	文学部	教授	小学校体育授業担当者(学級担任、体育専科教員)の在り方に関する総合的研究
基礎研究(C)	佐々木 浩	文学部	准教授	フィットネス教育を基盤とした小学校体育づくりの学習プログラムの開発
若手研究	齊藤 良子	政経学部	講師	言語学習による日韓・日中イメージの改善要因研究
若手研究	布田 徹	理工学部	講師	量子ウォークの作用論的研究
若手研究	桐越 仁美	文学部	講師	西アフリカにおけるイスラム系移民の危機回避に関する人類学的研究
若手研究	坂山 真弓	政経学部	講師	新たな同僚像の提示に向けて「対称・非対称ハイブリッド型同僚」としての日米同盟
研究活動スタート支援	松浦 季明	文学部	准教授	液体不自由児者の移動視座に対する位置認知・位置予測特性と眼筋運動特性の分析
研究活動スタート支援	本間 貴子	文学部	講師	米園における環境教育カリキュラムの確立とその継承・課題に関する研究
基礎研究(B)	沼本 宏俊	体育学部	教授	古代メソポタミア北部における歴史時代の物質文化の研究—日本産の発掘品を中心に—
基礎研究(B)	橋本 隆雄	理工学部	教授	文化的遺産である熊本城石垣の耐震性能を備えた修復のための研究
基礎研究(C)	河田 英介	政経学部	講師	アニメーション・ヘミングウェイ短編作品における文体要素とリアリズムの体系的検討
基礎研究(C)	藤森 馨	文学部	教授	出雲国道北東部文書群の総合的研究
基礎研究(C)	本山 雅弘	法学部	教授	AI/MLに関する意匠法保護秩序の特色とその合理性に関する基礎的研究
基礎研究(C)	水野由希里	経営学部	教授	既存技術を活用した新事業領域の探索と既存事業領域の知見を活用した新技術の探索
基礎研究(C)	大橋 隆弘	理工学部	教授	慣性センサーと画像処理技術(CFDF)の組み合わせによる革新的な異種材料接合センシング
基礎研究(C)	酒井 平祐	理工学部	准教授	低電圧駆動有機トランジスタの駆動原理とセンシングデバイスへの応用
基礎研究(C)	金子 真人	文学部	教授	発達障害者に併存する視覚認知機能障害の早期検出と実用性の研究
基礎研究(C)	河野 克彦	准教授	分子栄養学に基づくアスリートに特有な代謝障害の解明	
基礎研究(C)	羽根 克彦	体育学部	准教授	スポーツ人材の地域への定着過程と生活実践
基礎研究(C)	後藤 貴浩	文学部	教授	加温によるヒートショックプロテイン発現が睡眠・競技パフォーマンスを改善する可能性
基礎研究(C)	和田 匠史	理工学部	教授	頸動脈小体シナプス可塑性を応用した本態性高血圧治療法および予防法の開発
基礎研究(C)	日下部順三	体育学部	教授	近代日本の「経済大化」に関する基礎的研究—大正期を中心に—
若手研究	久保田裕次	文学部	講師	南海産品の管理・生産・販売をめぐる実証的研究—タイとミャンマーの漁民事例として—
若手研究	鈴木 佑記	政経学部	講師	「家族における養育行動の機能性と適応的意義：進化心理学的検討」
若手研究	川本 哲也	文学部	講師	オンラインとオフラインの学習履歴データを統合したタスクパフォーマンスの関与性評価
基礎研究(C)	林 一雅	法学部	講師	オンラインとオフラインの学習履歴データを統合したタスクパフォーマンスの関与性評価



就職率 高水準 96・7%

令和元年度本学卒業生に続き高い水準を誇った。業種別では「公務」が最も多かった。

令和元年度本学卒業生に続き高い水準を誇った。業種別では「公務」が最も多かった。業種別では「公務」が最も多かった。業種別では「公務」が最も多かった。

警察官・消防官・自衛官は全国1位

全国の国公私立大学の就職率を調査したところ、本学が警察官・消防官・自衛官の就職率で全国1位となった。

全国の国公私立大学の就職率を調査したところ、本学が警察官・消防官・自衛官の就職率で全国1位となった。全国の国公私立大学の就職率を調査したところ、本学が警察官・消防官・自衛官の就職率で全国1位となった。

自分を見つめ人生観培う時間

新型コロナウイルス感染症の影響により、学生生活は大きく変化した。この機会に自分を見つめ、人生観を培う時間を持つことが重要である。

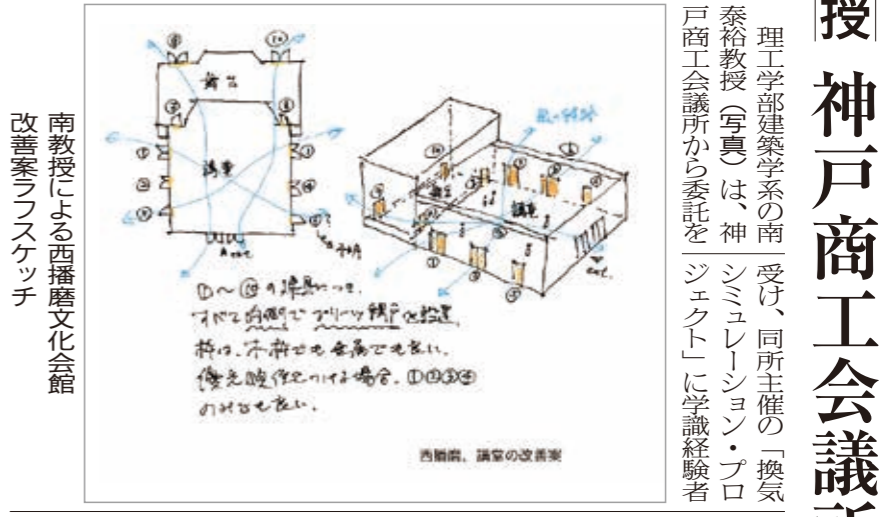
新型コロナウイルス感染症の影響により、学生生活は大きく変化した。この機会に自分を見つめ、人生観を培う時間を持つことが重要である。新型コロナウイルス感染症の影響により、学生生活は大きく変化した。この機会に自分を見つめ、人生観を培う時間を持つことが重要である。

マスコミを追う

新型コロナウイルス感染症の流行により、マスクの需要が急増した。本学では、マスクの生産・供給に貢献している。

新型コロナウイルス感染症の流行により、マスクの需要が急増した。本学では、マスクの生産・供給に貢献している。新型コロナウイルス感染症の流行により、マスクの需要が急増した。本学では、マスクの生産・供給に貢献している。

室内の気流を見える化 換気改善へ提案



南教授による西播磨文化会館 改善案ラフスケッチ

理工学部建築学系の南教授は、同所主催の「換気改善案ラフスケッチ」を発表した。このスケッチは、室内の気流を可視化し、換気効率を向上させるための提案を示している。

理工学部建築学系の南教授は、同所主催の「換気改善案ラフスケッチ」を発表した。このスケッチは、室内の気流を可視化し、換気効率を向上させるための提案を示している。理工学部建築学系の南教授は、同所主催の「換気改善案ラフスケッチ」を発表した。このスケッチは、室内の気流を可視化し、換気効率を向上させるための提案を示している。

建築アイデアコンテスト 高校生・高専生の作品募集

本学理工学部建築学系は、全国の高等学校1年次から3年次を対象に、建築アイデアコンテストを開催している。今年度のテーマは「環境と共生の家」である。

本学理工学部建築学系は、全国の高等学校1年次から3年次を対象に、建築アイデアコンテストを開催している。今年度のテーマは「環境と共生の家」である。本学理工学部建築学系は、全国の高等学校1年次から3年次を対象に、建築アイデアコンテストを開催している。今年度のテーマは「環境と共生の家」である。

著書紹介

東南アジア文化事典 共著 鈴木佑記(政経学) 丸善出版 20000円(税別)

政治学入門 編者 平石正実(政経学) 共著 部教授、古坂正 石見豊(同教授) 丸善出版 20000円(税別)

日本史概説 知る・出会う・考える 共著 勝田政治(文学部) 教授、眞保昌弘(同准教授、仁藤) 智子(同教授)、秋山(同教授)、夏目(同教授)、久保田(同教授)、石野(同教授) 北樹出版 24000円(税別)

グローバルヒストリーから考える新しい大学歴史教育 共著 久保田裕次(文学部) 講師、ほか 大阪大学出版会 23000円(税別)

令和2年度事業計画

はじめに

本年度の事業計画は、昨年6月に公表した「学校法人国士館第2次中期事業計画」の初年度実行プランと並行して行います。

1 事業の概要

今日、学校教育に新たな価値を創造し、未来を担う人材を養成が求められている状況の中、本学は「一貫して建築の精神の下、世のため人のために尽くす有為な人材の養成」を使命に掲げ、さまざまな改革を推進し、教育環境の整備を進めています。

2 財務の概要

令和元年度における国士館大学の入学者数(大学院を除く)は、平成28年度以降、文部科学省の私立大学等経常費補助金の交付要件に抵触した入学者数不足率(107.7%)を下方推移させたことにより、平成28年度から令和元年度に在籍生数は、347人減少しています。

3 大学・大学院

①外部資金活用による教育研究の推進
②外部資金活用による教育研究の推進
③外部資金活用による教育研究の推進
④外部資金活用による教育研究の推進

4 高等学校・中学校

①ICT教育の充実、クラウドの整備
②英語教育の強化、防災教育の取組
③キャリア教育の推進、健康増進プログラムの実施

学校法人国士館の規模等の概要

項目	概要
■キャンパスの所在地と土地面積	世田谷 56,771㎡、町田 90,019㎡、多摩 183,588㎡ 計330,378㎡
■設置する学校	国士館大学(世田谷・町田・多摩)＝大学院、政経学部、体育学部、理工学部、法学部、文学部、21世紀アジア学部、経営学部 国士館高等学校(世田谷)＝全日課程、昼間定時課程 国士館中学校(世田谷)
■学生・生徒数	国士館大学大学院 256人 国士館大学 12,501人 国士館高等学校 1,134人 国士館中学校 119人 計 14,010人
■役員・教職員の概要	役員等：理事・監事・評議員・館長 計37人 専任教員：大学310人、高等学校48人、中学校10人 計368人 非常勤教員：大学654人、高等学校34人、中学校3人 計691人 専任職員：法人67人、大学152人、高等学校6人、中学校1人 計226人